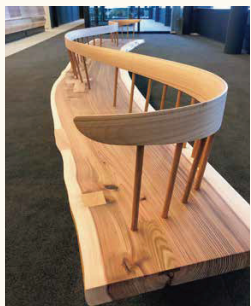




家具・什器・インテリア 家具／インテリア

studio Jig

studio Jigは吉野林業発祥の地、川上村にて創業しました。吉野材の主産地である川上村で事業を行うことで、高品質の吉野材を自ら目利きして仕入れることが可能です。海外で身に付けた特殊な三次元曲木と、500年の歴史を持つ吉野杉・桧を掛け合わせ、これまでにない吉野材の利用価値を追求しています。将来的には、吉野の歴史、吉野材の魅力を海外にも発信していきたいと考えています。



■6mの吉野杉を使用し、4mベンチに仕立てました。



■地板の柵に色調を合わせる為、背板は吉野桧を使用。



天然一枚板を座面とし、吉野杉、吉野桧を背板に使用した特注ベンチ

待合室やピロティなど、不特定多数の往来がある場所へ、両側から座れるデザインをしたベンチです。天然一枚板を座面とし、それに合わせて背板を曲げているため、一つとして同じ形はなく唯一無二のデザインが可能です。天然板特有の個性、力強さと、吉野材の美しい木目と流れるようなラインは、空間を引き立て、時には主役となることも可能です。





■作品名「CJ2 legless chair」



■和洋どちらにもあうデザインです。



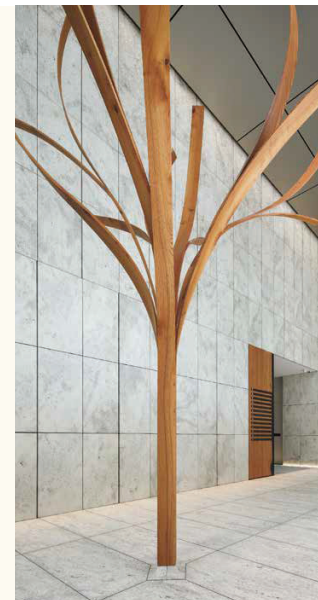
■作品名「CJ3 counter chair」



■作品名「CJ6 low rocker chair」

吉野杉×フリーフォームラミネーションを使用した曲木造形家具

studio Jigの製品は、主に吉野杉を使用して、フリーフォームラミネーションと呼ぶ特殊な三次元曲木を用いて製作しています。一般的に、杉材は軽く軟らかいため、家具用材には不向きとされてきました。しかし、年輪の緻密な吉野杉の薄い単板を何枚も重ね、積層し圧着する技術により、接着材の強度をそのまま木材の強度へ補填し、軟らかい杉材でも家具を製作することができました。また緻密な年輪自体が、杉材の成せる最大限の強度を持っています。フリーフォームラミネーションという技術は、通常の積層合板と違い、雌雄の型を用いないため、型の制限を超えた自由な造形を生み出すことが可能です。3次曲線を用いることで、強度の必要な仕口を使用せずに家具を構成しています。また流れるような流線形は他に類を見ない造形を実現しています。この技術を用いた家具は世界的に見ても非常に希少です。



■オブジェ「承継」



■オブジェ「実り」



■計画敷地に自生していたケヤキを使用しました。



■同じケヤキで、階数表示サインも曲木で制作。



■パン屋へ納入、小麦をモチーフに構成しました。

空間のコンセプトに沿ったデザイン

空間の設計段階から依頼をいただくことで、建築に付随した恒久展示のオブジェを提案することが可能です。空間のコンセプトに沿ったデザインのオブジェや、その土地にゆかりのある木材を使用したオブジェなど、自由度が高く、建築と作品の魅力を最大限に引き出すことができるアートワークをご提案します。

また曲木を使用して、簡単なアルファベット、数字を一筆書きで表現することもできますので、施設名表記や各階階数表示等、他にないサインの製作が可能です。



studio Jig

〒639-3543
奈良県吉野郡川上村大滝139
TEL : 070-2837-5298
Mail : info@studiojig.com

